

末恒小学校6年生の授業後の感想

私は鳥取県に、503か所もお城があったことにびっくりしました。私は、鳥取市には、伏野城と、鳥取城の2つだと思っていました。すごくいい事を知りました。それと、つづらお城には、横堀、堅堀があり、敵から城を守っていたことも学びました。どうして多くの城が必要であったのだろうかという疑問を持ちましたが、他の城の敵が攻めてきて、城をとられてしまったときに、変わりにすむ城が必要だったからということが分かりました。守りと攻めの体験は、守るよりも攻めるほうが有利だと思っていましたが、実際に体験してみると、攻めよりも守りのほうが有利であることを知りました。中山先生、茶谷先生の話はとても面白く、また聞かせていただきたいです。

鳥取市で503か所に城の跡があることにおどろきました。その中でも、末恒から一番近いところでは伏野にお城があったことにさらにおどろきました。湖山の近くにもたくさんの城の跡があり、何であんなにお城が必要だったのかももっと知りたくなりました。秀吉軍に勝った城の守りは横堀と縦堀という仕組みがあり、実際にやってみると守るほうが得だと感じました。秀吉軍に勝ててよかったです。また、戦うときや守るときの方法に他の工夫があるのか調べてみたいと思います。

中山先生のお話で昔のお城のことについてたくさんの学びがありました。一つ目の学びはお城の数です。昔はお城が503個もあり、学校の近くにも城跡が13個あるということとてもびっくりしました。なぜこんなにもお城の数が多いのかを考え、わたしの考えでは、「たくさんお城を建てると、敵にもし城（土地）をうばわれたとしても、他の城に助けてもらえそうだから。」と考えました。二つ目は、戦い方の工夫です。横堀と縦堀という言葉は初めて聞きました。横堀は、敵が攻めてきたときに、横の溝みたいなところに敵を追い込んで攻撃する方法で、縦堀は、横堀と同じく縦に溝があって敵の攻撃から守る方法のようです。実際に体験してみて、縦堀の攻めにくさを感じました。聞いたり、体験したりすることで、たくさんの学びができてとてもおもしろかったです。

中山先生の学習で発見したことは、今の日本や世界にはあまりないことだけど、昔は反乱や争い（戦争）などが多く、城などで争いに常に備えていたことです。今回城のつくりや数を勉強したけど、どういう城のつくりだったらうまく敵から守ることができるかということや、どうしたら上手い城のつくりを負けないように攻めこめるかなど、昔の武士は頭を使って上手く戦っていたので、頭がいいのだなと思いました。学んだことは、昔と今を比べて、昔は普通にお城を利用して争っていたけど、今は争いなんか起こると大問題になるし、お城は「きれいだな～」と眺めるものになっているので、昔はとてもこわいなと感じました。応仁の乱のように二度とこんなこわい争いはしたくないと思いました。とても楽しい時間だったので、また、お話しをしていただきたいと思います。

「よろしくお願いします。」その一言から社会科（歴史）の授業が始まりました。今日は、城跡、しかも、湖山池周辺の城跡のことをおしえていただきました。思ったよりもたくさん城跡がありました。500くらいあったと思います。たくさんありすぎて数を忘れました。今日はまたまた特別な体験をさせていただきました。一つは、城の守り方。二つ目は、お城にあった物をさわらせていただきました。落とせ

ば大変なことになるので手がふるえました。でも、良い経験になりました。大黒さまホールでも言いましたが、「ありがとうございます。」楽しくて、びっくりする授業でした。発表もたくさんできてよかったです。最後の感想は言えなかったけど、学べてよかったです。本当にありがとうございました。

大黒さまホールに入った。中山先生はもうおられた。今日は、中山先生の二回目の学習だ。今回は中世のお話をしていただいた。テレビに鳥取県の写真が写って、ぼくは何だろうと思った。中山先生が答えを言うと、それは鳥取県のお城の数を表していたものだった。ぼくは鳥取県にこんなにお城があるんだなとびっくりした。そして、つづらお城の話で、横堀などの言葉が出てきた。ぼくたちはそれを体験して、すごいかけがあるんだと思った。次に、どうして多くの城が必要だったのだろう？という質問で、ぼくの予想は、他の城に逃げ込めるからだと思った。みんなが発表すると予想がたくさん出たのでびっくりした。面白い考えも出てきたので楽しかった。今回も面白いお話だったから、とても楽しかった。

そうじが終わり、竹腰先生が「大黒さまホールで社会するで。」と大きな声で言った。わたしは、ふでばこと下じきを持ってならんだ。中山先生は、前にも縄文時代のことを教えてくれて、今回は室町時代のことを教えてくれました。鳥取県の末恒の近くにいっぱい城があつて、多いなと思いました。横堀、堅堀という言葉を知り、実際に攻めと守りをやってみました。守りが弓で、攻めは剣で戦いました。守りは守るのがとても大変だったのだなと思いました。前まではあまり歴史は得意ではなかったけど、好きになれたのでよかったです。

一回目の学習は入ったしゅん間こわれそうなものがあつて、こわしたらやばいと思つていて、二回目もあるのかと思つていました。でもあんまりなくてよかったです。守りと攻めの体験もあつて、もっとやりたいなと思つていました。最初は鳥取の久松山にある城跡ぐらいかなと思つていたけど、いっぱいあつてびっくりしました。湖山池の近くに14個もあつたので、近いところに行けたら行ってみたいです。昔の城が山だったのでもっと授業をしてほしいなと思つていました。

それは、わたしが「うーん。」とうなるくらいすごい構造だった。「ヤー。」「うわっ！」わたしはチャンバラごっこみたいで楽しかった。聞くと、つづらお城というところの城の横堀と堅堀だそうで、初めて知つたことに感動した。それからどうして多くの城が必要だったのだろうという疑問をとつてもいいいに考えた。わたしは前から考えていた。「オレ様の城が一番強いんだぞ」ということをアピールするためにつくつたということを書いた。まだあるかな、もうないかな、さがすのが楽しくて、いっぱい書いた。みんなが発表するときに中山先生がみんなにあいづちをうつていたのを見てすごいなと思つた。中山先生があいづちをうつたあとはみんなうれしそうな顔をしていたからだ。本当にいい経験をさせていただいた。ありがとうございます。

わたしは、鳥取県にはたくさんの城跡があるんだなと思つていました。末恒の近くにもあるし、中央病院にもあるし、一番多いのは湖山池の近くにたくさんあつたのですごいと思つていました。中山先生とは今日で2回目だったけど、すごく楽しかったです。実際にやってみたり、本物をさわらせてくださつたりしたのでうれしかったです。城跡は14個あつて、鳥取にはたくさんあるんだなあと思つていました。びっくり

したのは湖山池の周りにはたくさんあるけど、湖山には城跡が一つもないことがびっくりしました。わたしが予想したのは、その時代にはたくさんの争いがあったのかな？と思いました。豎堀、横堀の体験もできたのでとても楽しかったです。

なんか昔のものが置いてあった。机の上に2、3個置いてあって、何かなあと思いながら授業が始まった。今日は、5人で来ていた。ここまでしてくれてうれしかった。中世という新しい時代だから、どんなかなあと不思議に思っていた。最初、城がすごくあって、なんでこんなにいるのかなと思っていて、湖山池の近くでも14個、鳥取県で500個以上は、さすがにありすぎじゃないかなと思った。ぼくは、鳥取県に城は2個か3個かなと思っていたけど、500個こえていてびっくりした。豊臣秀吉にも勝っている人が鳥取県にいたのはすごいと思った。